

中学生の「税についての作文」

大川税務署管内納税貯蓄組合連合会 会長賞

税金の長所と短所

大川市立大川桐薫中学校

三年 中 村 海 心

私は小学生のとき、「税金ってなんであるんだろう」と疑問に思い、一度スマートフォンで調べたことがあります。小さい文字でびっしりと詰めて書かれたページを見て、まず思ったことは「読む気になれない」小学生の私には、「法人税」「所得税」がどういう税金なのか分からなかったのです。「消費税」しか払っていない私にとって、税金がどれだけ私たちの生活にかかせないものなのかさっぱり分かりませんでした。しかし、中学三年生になった私は、租税教室や社会の公民の授業でたびたび税のしくみについて教わりました。少子高齢化の影響で私たちが大人になったとき、払わないといけない年金が増えること。たくさん税金を払わないといけないため、私たちの生活がどんどん苦しくなっていくこと。税金がなかったら、教科書や机、椅子、学校で必要不可欠な教材を全て自分たちでお金を負担することになってしまうこと。税金というものには、長所もあれば、致命的な短所もあるのです。

このような話を聞くと、「税金なんてなくなってしまえばいいのに」と感じる人もいるでしょう。

実際、税金がなくなると、消費税がなくなり、物の値段が安くなります。他には、年金や社会保険料などが差し引かれなくなるため、給料が増えたりします。しかし、良いことばかりではありません。特に医療機関などでは、税金がなくなってしまうと、診察代や薬代など全額自己負担になってしまいます。救急車を呼ぶだけでも四万五千円かかると言われています。また、警察官など、公務員の給料は税金から支払われています。そのため、警察官などへの給料は、別のところから支払わなければなりません。しかし、それがなくなると、警察官のパトロールが有料になったり、はたまた回数が少なくなったりするかもしれません。そうになると、激的に治安が悪くなり、犯罪が増えてしまうことでしょう。

税金というものは、日本の課題であり、私たち生活にかかせないとても大切なものです。実際に税について勉強することで、私たちがどれだけ助けられたのかが分かります。これから大人になっていくにつれ、税との関わりはどんどん深まっていきます。税に苦しめられることも、助けられることもきっとあるでしょう。これからは税に助けられる社会を私は望みます。